

平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年5月8日

上場会社名 S B S ホールディングス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2384 URL http://www.sbs-group.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦 (TEL) 03 (3829) 2222
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 掛橋 幸喜 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	30,979	12.7	530	—	691	—	563	—
23年12月期第1四半期	27,489	1.4	39	△94.1	△55	—	△552	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 548百万円 (—%) 23年12月期第1四半期 △517百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年12月期第1四半期	45	58	—	—
23年12月期第1四半期	△45	12	—	—

(注) 当社は平成24年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。なお、平成23年12月期第1四半期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	103,351	26,248	25.0
23年12月期	100,747	25,065	24.5

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 25,872百万円 23年12月期 24,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
23年12月期	—	0	00	—	3,000	00
24年12月期	—					
24年12月期 (予想)		0	00	—	30	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は平成24年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。なお、平成24年12月期 (予想) の期末配当額は、当該株式分割の影響を勘案すれば平成23年12月期の期末配当額と同水準となります。

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	62,000	6.9	1,100	111.9	800	175.9	500	—	40.46
通期	127,000	4.8	2,900	33.2	2,400	45.2	1,800	△28.6	145.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引いた円高や株安が是正に向かっているほか、個人消費の緩やかな回復など景気に持ち直しの兆しがみられました。しかしながら、原油価格の高騰、電力料金の値上げや供給不安、不安定な政局など先行き不透明な状況が続いております。

物流業界では、東日本大震災による物流や輸送への影響がほぼ解消されたほか、個人消費の回復に伴って食品など一部業種では物量の増加傾向がみられます。一方、燃料調達単価の上昇、お客様の物流費抑制や同業者間の競争激化によって受注価格の維持が難しくなるなど、収益の確保は、一段と厳しさを増しております。

このような環境のもと、当社グループは、全方位の物流機能を有する3PL企業集団をめざして掲げた事業、投資、海外戦略の推進などに取り組みました。

事業戦略では、3PL営業の強化、収益性の低い事業の見直しや改善などに取り組みました。投資戦略では、3PL事業の新たな拠点として千葉県野田市に1万坪規模の新センターを着工、10月の開設をめざしております。海外戦略として、東南アジアを中心に子会社であるAtlas Logistics Pvt. Ltd.の持つ海外拠点を活用した当社グループの拠点整備や海外要員の育成など本格海外展開に向けての準備に着手しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、食品関連の物流が堅調に推移したほか、前連結会計年度に実施したM&Aによるグループ企業の増加や3PL業務の拡大などが牽引し309億79百万円（前年同四半期比12.7%増）と増収になりました。

一方、営業利益は、売上高の拡大や低採算性業務の収益改善などにより5億30百万円（前年同四半期は営業利益39百万円）となりました。経常利益は、営業外収益に当第1四半期に持分法適用関連会社とした株式会社ゼロにかかる持分法投資利益3億20百万円を計上したことから6億91百万円（前年同四半期は経常損失55百万円）となりました。

四半期純利益は、5億63百万円（前年同四半期は四半期純損失5億52百万円）となりました。これは、前年同四半期に計上した災害による損失および資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額などの特別損失がなくなくなる一方で、当連結会計年度より導入した連結納税制度に伴い法人税の負担が軽減されたことによるものです。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(物流事業セグメント)

物流事業は、東日本大震災による物量低下影響が解消したことや前連結会計年度にグループ入りした日本レコードセンター株式会社およびAtlas Logistics Pvt. Ltd.の2社の業績が加わったことに加えて、毎年需要が落ち込む第1四半期に食品関係の荷動きが活発になったことなどにより堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は、288億10百万円（前年同四半期比13.9%増）と増収になりました。

営業利益は、1億87百万円（前年同四半期は営業損失2億52百万円）となりました。これは、売上高の増加、不採算業務の改善のほか、前年同四半期にあった震災影響やセンター立ち上げなどによるコスト負担がなくなったことによるものです。

(不動産事業セグメント)

不動産事業は、施設の新たな稼働や販売などがなかったことから売上高は、ほぼ横ばいの6億9百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は、関連するSPCのリファイナンス費用を支出したことから3億4百万円（同9.8%減）となりました。

(その他事業セグメント)

その他事業は、人材事業、環境事業の収益改善が進み、売上高は、15億58百万円（前年同四半期比2.2%減）と微減したものの、営業利益は、21百万円（前年同四半期は営業損失29百万円）となり黒字に転じました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,033億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億4百万円増加いたしました。資産の増加の主な内訳は、売上債権の回収や借入金などにより現金及び預金の増加10億4百万円および持分法適用による投資有価証券評価の見直しにより投資その他の資産の増加20億27百万円によるものであります。

負債は、771億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億21百万円増加いたしました。これは主として短期借入金の純減など流動負債の減少47億4百万円があった一方で、長期借入金など固定負債の増加61億25

百万円によるものであります。

一方、純資産は262億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億82百万円増加いたしました。これは、主として配当金の支払い3億70百万円があった一方で、四半期純利益5億63百万円および株式会社ゼロの持分法適用関連会社化に伴う利益剰余金9億86百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期終了時点における業績は、売上高、利益面ともに当初予想に対して多少強含みで推移いたしました。一方、今後の経営環境は、燃料価格の高騰リスクや夏場に向けての電力不足問題、海外景気の減速懸念など依然として先行き不透明です。これらを勘案し、平成24年2月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想は変更いたしません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。この適用により、当第1四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純損失金額は、以下のとおりであります。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

1株当たり四半期純損失金額（△） △4,511円98銭

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,218,561	10,223,281
受取手形及び売掛金	16,263,214	15,966,744
有価証券	300,717	747
たな卸資産	7,713,665	7,692,712
その他	6,296,246	6,682,436
貸倒引当金	△65,899	△72,490
流動資産合計	39,726,505	40,493,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,123,724	34,139,818
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,651,495	△20,887,746
建物及び構築物(純額)	13,472,229	13,252,072
機械装置及び運搬具	16,475,242	16,224,084
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,998,062	△13,750,435
機械装置及び運搬具(純額)	2,477,180	2,473,648
土地	32,807,119	32,805,347
リース資産	4,925,198	4,991,633
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,240,601	△2,340,799
リース資産(純額)	2,684,597	2,650,833
その他	3,308,727	3,553,683
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,449,350	△2,443,626
その他(純額)	859,376	1,110,057
有形固定資産合計	52,300,501	52,291,959
無形固定資産		
のれん	1,523,758	1,358,811
その他	812,284	795,242
無形固定資産合計	2,336,043	2,154,054
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,688,730	8,735,793
貸倒引当金	△304,527	△323,881
投資その他の資産合計	6,384,203	8,411,912
固定資産合計	61,020,749	62,857,925
資産合計	100,747,254	103,351,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,601,232	7,408,282
短期借入金	19,695,899	17,021,643
1年内返済予定の長期借入金	9,490,869	7,007,808
1年内償還予定の社債	256,000	256,000
未払法人税等	381,822	245,001
賞与引当金	638,219	1,307,127
その他	6,378,090	6,491,978
流動負債合計	44,442,134	39,737,841
固定負債		
社債	1,430,000	1,302,000
長期借入金	17,436,578	23,312,267
退職給付引当金	3,577,229	3,568,341
その他	8,795,971	9,182,755
固定負債合計	31,239,778	37,365,364
負債合計	75,681,912	77,103,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,833,934	3,833,934
資本剰余金	5,418,063	5,418,063
利益剰余金	16,235,458	17,407,495
自己株式	△658,985	△621,494
株主資本合計	24,828,470	26,037,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△69,114	△16,499
繰延ヘッジ損益	△76,929	△60,741
為替換算調整勘定	—	△87,796
その他の包括利益累計額合計	△146,043	△165,038
新株予約権	14,949	20,004
少数株主持分	367,965	355,187
純資産合計	25,065,341	26,248,151
負債純資産合計	100,747,254	103,351,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	27,489,756	30,979,311
売上原価	25,345,068	28,062,023
売上総利益	2,144,687	2,917,287
販売費及び一般管理費	2,104,724	2,386,716
営業利益	39,963	530,571
営業外収益		
受取利息	4,496	3,431
受取配当金	16,189	15,912
デリバティブ評価益	33,162	—
持分法による投資利益	11	321,111
その他	24,154	31,660
営業外収益合計	78,014	372,115
営業外費用		
支払利息	147,392	148,490
その他	26,502	62,486
営業外費用合計	173,894	210,976
経常利益又は経常損失(△)	△55,916	691,710
特別利益		
固定資産売却益	15,309	30,563
補助金収入	9,259	10,848
その他	3,887	7,110
特別利益合計	28,456	48,522
特別損失		
固定資産売却損	27,825	566
固定資産除却損	1,742	1,349
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	379,557	—
災害による損失	150,544	—
その他	2,818	47
特別損失合計	562,488	1,963
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△589,948	738,270
法人税、住民税及び事業税	350,320	206,590
法人税等調整額	△377,894	△27,243
法人税等合計	△27,573	179,347
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△562,374	558,922
少数株主損失(△)	△9,472	△5,076
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△552,902	563,999

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△562,374	558,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,071	65,247
繰延ヘッジ損益	29,110	16,187
為替換算調整勘定	—	△92,020
その他の包括利益合計	45,182	△10,585
四半期包括利益	△517,192	548,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△507,250	557,275
少数株主に係る四半期包括利益	△9,942	△8,938

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,299,842	596,265	1,593,648	27,489,756	—	27,489,756
セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,192	6,256	133,841	215,289	△215,289	—
計	25,375,034	602,521	1,727,490	27,705,045	△215,289	27,489,756
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△252,638	337,554	△29,918	54,997	△15,034	39,963

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去11,422千円及び各報告セグメントに配分していない親会社(四半期連結財務諸表提出会社)に係る損益△26,456千円であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,810,920	609,648	1,558,742	30,979,311	—	30,979,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	83,058	4,548	65,117	152,724	△152,724	—
計	28,893,979	614,196	1,623,859	31,132,035	△152,724	30,979,311
セグメント利益	187,530	304,385	21,173	513,089	17,481	530,571

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,712千円及び各報告セグメントに配分していない親会社(四半期連結財務諸表提出会社)に係る損益13,769千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。